

ごうつ

市議会だより

江津東小学校 6年山本栞里



2024.2
No.158

小中学校音楽会

令和5年度 一般会計補正予算(第5号)



ふるさと納税や物価高騰対策などに対する補正予算を計上。

補正予算額 **5億2330万円**(補正後総額168億2979万円)

元気! 勇気! 感動! ごうつ ふるさと基金積立金

ふるさとづくり
寄付金積立金 **1億7478万円**

ふるさとづくり寄付金事業

1億7447万円

ふるさと寄付業務委託料 …… 1億4259万円
ポータルサイト利用料など …… 3188万円

保育園留学

全国から保育園留学
したい子育て世帯を受
け入れ、跡市・有福温
泉地区を中心に観光・
暮らし体験を提供



里山子ども園わたぼうし

300万円

生活交通バス

有福線代替交通検討
支援業務委託料 **136万円**

普通財産管理費

旧川越保育所解体工事
設計業務委託料 **141万円**

委員質疑

問 公共施設解体は、国の有利な財源を活用とのことだが、今回は全て一般財源で対応する理由は。

答 設計業務を含めた解体費用が国の築堤工事の補償契約により充当されると捉えているため。

学校給食費

学校給食会運営費補助金
(物価高騰対策) **400万円**

委員質疑

問 物価高騰により給食費の金額が増加するようだが、その内訳は。また、保護者負担が増加するのか。

答 既に補助している1000万円に追加して400万円を補助する。現在のところ、保護者負担の増加予定はない。

地域開発費

公共交通事業者燃料費
高騰緊急支援事業交付金 **54万円**

子育て世帯臨時給付金

9304万円

エネルギー価格・物価高騰の影響を受けた子育て世帯の負担軽減を図るため対象児童1人につき3万円給付

道路維持補修

2000万円

道路修繕料(緊急対応道路維持費) … 1100万円
市道波子向浜2号線 舗装陥没修繕 … 400万円
敬川洋橋 高欄修繕 …… 500万円



敬川洋橋



市道波子向浜2号線



給与改定や住民税非課税世帯等に対する臨時特別
給付金など補正予算を計上。

補正予算額 **2億9669万円**(補正後総額171億2648万円)

**住民税非課税世帯等
に対する臨時特別給付金**

物価高騰対策として1世帯あたり
7万円の給付金を追加支給

2億6701万円

委員会 ピックアップ



総務民生委員会

● 公共施設である庁舎内において政党機関紙の勧誘・配達・ 集金の自粛(陳情)

江津市に対し、政党機関紙の勧誘・配達・集
金行為に関して心理的圧力を感じてる職員が
いないか把握に努めると共に、庁舎内管理規
則に基づくルールの明確化を求めるもの

委員質疑

問 仮に、職員が心理的圧力を感じた時、相
談できる窓口の設置はあるか。

答 内容に応じて、総務課、人事課、消費生
活相談センターなど連携して対応する。

● 公の施設にかかる指定管理者の指定

公の施設にかかる指定管理について、5施設
について非公募継続で指定管理者を決定す
るもの

委員質疑

問 指定の中には市営住宅も含まれるが、家賃
の値上げはあるか。

答 家賃の値上げはない。

建設経済委員会

● インボイス制度に関する相談窓口等の支援(陳情)

今後、制度の問い合わせ、相談も
増えるであろう状況を踏まえ、市
内事業者などが相談できる窓口・
支援体制の整備を求めるもの

委員質疑

問 市は消費税について対応する権限はあるのか。

答 毎年所得税の申告相談の期間は、消費税の書類作成の許
可を得ているが、専門的知識が必要となるため実際には作
成していない。税務署に相談してもらうようにしている。

● 江津市生活バス運行事業に関する条例(一部改正)

石見交通株式会社の運行する路線バス
「有福線」の廃止に伴う代替交通として
生活バス路線を1路線新設するもの

委員質疑

問 事業者への委託とバス車両の調達状況は。

答 当面の間、市がリース契約によりバスを用意する。
委託事業者の選定では入札の準備を行っている。

本会議における賛成・反対意見

陳情第6号

公共施設である庁舎内において政党機関紙の勧誘・配達・集金を自粛するよう求める

不採択

反対 多田 伸治

しんぶん赤旗と日本共産党を狙い撃ちにした事実に基づかない陳情。購読の強制などありえないし、赤旗は報道メディアとして、行政関係者や他党議員の情報源でもあり、購読が公務員の公平性を損なうものではない。地方自治の陳情制度を貶めるものであり、それに乗らないためにも反対。

陳情第7号

インボイス制度に関する相談窓口等の支援対策を求める

不採択

反対 坂田 優美

インボイスとは消費税の税率や金額が厳密に記載された適格請求書のことであり、消費税は国税なので窓口は税務署になる。市の税務課としては、「税の相談は専門的な知識が必要なため、税務署窓口などを案内する」とのこと。また、確定申告時期の市役所申告相談会場は完全予約制でやっているのに混雑はないと考えられることから反対。

賛成 森川 佳英

陳情は、インボイス制度への国の脆弱な相談体制を危惧し、本市へ市内事業者が相談できる窓口の設置を求めるもの。現状の体制では、確定申告の際に混乱が生じる可能性がある。しかも、雑収入・雑所得がある場合、インボイス制度の影響を受けるが、当事者がそれを理解・把握していない。そういったことも含め、市内経済を守る上で、市行政として相談体制を講じる必要があるため賛成。

意見第3号

インボイス相談窓口設置を国に求める

不採択

反対 森元 健二

本市では毎年、所得税の確定申告相談期間は消費税の書類作成の許可を得ているが、専門的知識が必要となるため実際には作成せず、税務署に相談してもらうようにしていることもあり、意見内容の自治体窓口への支援策を国に求めることについては実効性が低いと考える。また、意見書はインボイス制度の相談窓口などへの支援対策であるにもかかわらず、内容は確定申告のことも含まれており、内容の整合性が取れていないと判断し反対。

賛成 森川 佳英

意見書は陳情第7号の訴えをもとに、インボイス制度に絡んで、周知徹底と不安解消のための人員体制・相談窓口の拡充、確定申告での税務署・自治体への支援策、確定申告への時間的猶予を、国に求めるもの。自治体業務や事業者の経営が滞れば、市民生活や地域経済に多大な影響を与えることになるため、対策を求める必要があり賛成。

議案59号

市長等の給与に関する条例(一部改正)

可決

反対 多田 伸治

条例案は、市長・副市長・教育長のボーナスを増額させるもの。しかし、12月定例会での一般質問の答弁で、市財政は「余裕のない状態」とされたばかりであり、ボーナスアップは理解に苦しむ。国政でも岸田政権が閣僚のボーナスアップで批判を浴びた。同じ轍を踏めば、市民からの地方自治への信頼を損なうことになるため反対。

賛成 坂手 洋介

今回の条例改正は令和5年度人事院勧告および島根県人事委員会勧告に準じ改正される職員などの給与の改正に伴い、市長などの期末手当の改正を行うものである。近隣の市と比較しても今回の改正は妥当であると考えられ賛成。

本会議における賛成・反対意見

議案第60号 | 市議会議員の議員報酬等に関する条例(一部改正)

反対 多田 伸治

条例案は、市議会議員のボーナスを上げるもの。しかし、議員は「余裕のない状態」との市財政についての答弁を聞いており、自らのボーナスアップよりも市財政に負担を与えないことを優先すべき。財政状況を見直し、自分たちのボーナスアップを図る。こういう時期・こういうやり方では、コロナ禍から続く不況に苦しむ市民の理解は得られないため反対。

賛成 渡辺 信明

条例の一部改正は、令和5年人事院勧告や島根県人事委員会勧告に準じて実施するものであり、民間との均衡を図るための改正。また、地方議員のなり手不足問題の原因の一つであると言われている「低水準な議員報酬」の改善にもつながることが期待されるため賛成。

可決

議案第62号 | 令和5年度一般会計補正予算(第6号)

反対 多田 伸治

予算案には、市職員、市長・副市長・教育長、市議会議員のボーナスアップの費用が計上されている。市職員は労働者であり、ボーナスアップは民間労働者の賃金へ上向きの影響を与えるので、反対するべき理由はないが、市長・副市長・教育長と市議会議員には、「余裕のない状態」とされる市財政への責任があり、自らのボーナスを上げては道理が通らない。市民の理解が得られるものではないため反対。

賛成 下谷 忠広

補正予算は、住民税非課税世帯などに対する臨時特別給付金給付事業の実施や、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を受けての編成である。物価高騰により、特に家計への影響が大きい住民税非課税世帯に対して、1世帯あたり7万円の給付金を追加支給することにより、低所得世帯の生活を今年の夏以降に支給された3万円とあわせて引き続き支援するものであり賛成。

可決

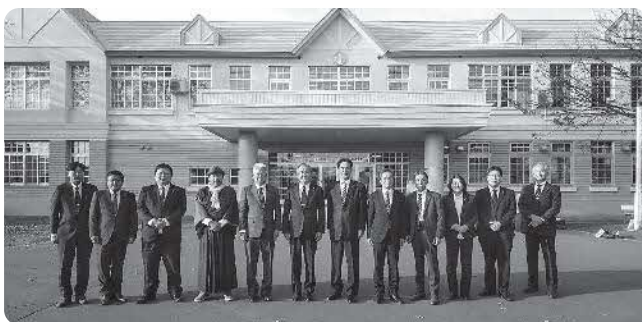
総務民生委員会行政視察(10月31日～11月2日)

北海道の大空町・斜里町・網走市への行政視察を行いました。

大空町では、2つの高校が統合して開校した町立大空高等学校を訪問し「新しい高校づくり」を視察しました。開校前には町民を主体とした高校魅力化プロジェクト検討委員会を立ち上げ、高校「存続」ではなく「魅力化」を目指すことを決定。それを受けて教諭が主体となった推進委員会でカリキュラムデザインされ、生徒が自分らしい生き方を探することができる学校となっています。また、塾と交流の場を備えた公設の寮を設置し、道内遠方や北海道以外から40人が入学していました。

斜里町では「新図書館」を視察しました。新図書館のコンセプトは、学びの場、憩いの場、交流の場であり、「本を読むところ」のイメージから脱却し、平日でも多くの利用者がありました。建設にあたっては、町民による検討委員会が発足され、あり方・役割・基本方針など、行政と共にしっかりと議論がなされ実現したそうです。

網走市では「デジタルファースト宣言」と「電子図書館の運営」を視察しました。「デジタルファースト宣言」はDXの推進(人口減少対策と住民サービスの向上による持続可能な自治体)を目指して実施され、宣言により自治体内外での共通理解促進に活用されていました。「電子図書館の運営」は、コロナ禍における読書支援と読書環境の整備を目的に導入され、インターネット環境と網走市立図書館の貸し出しカードがあれば利用でき、利便性が非常に高いと感じました。今回の行政視察では、本市における県立高校のあり方、図書館建設、スマートシティ江津推進構想など進めるにあたり、大変参考になる事例であり、今後の提言に活用していきます。



大空高等学校

議決結果【第4回議会定例会】			森元	植田	渡辺	坂田	寺前	下谷	坂手	植田	鍛治	多田	山根	森川	森脇	石橋	河野	藤間
議案番号	件名	議決結果	健二	圭介	信明	優美	克宏	忠広	洋介	好雄	恵巳子	伸治	兼三郎	佳英	悦朗	孝義	正行	義明
執行部提案	議案第48号 江津市生活バス運行事業に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第49号 江津市監査委員条例等の一部を改正する条例の制定について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第50号 公の施設に係る指定管理者の指定について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第51号 辺地に係る総合整備計画を定めることについて	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第52号 辺地に係る総合整備計画の変更について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第53号 令和5年度島根県江津市一般会計補正予算(第5号)を定めることについて	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第54号 令和5年度島根県江津市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)を定めることについて	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第55号 令和5年度島根県江津市国民健康保険診療所事業特別会計補正予算(第1号)を定めることについて	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第56号 令和5年度島根県江津市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)を定めることについて	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第57号 令和5年度島根県江津市水道事業会計補正予算(第2号)を定めることについて	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第58号 職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第59号 市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○
	議案第60号 江津市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例制定について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○
	議案第61号 江津市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第62号 令和5年度島根県江津市一般会計補正予算(第6号)を定めることについて	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○
	議案第63号 令和5年度島根県江津市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)を定めることについて	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第64号 令和5年度島根県江津市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第3号)を定めることについて	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第65号 令和5年度島根県江津市水道事業会計補正予算(第3号)を定めることについて	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第66号 令和5年度島根県江津市下水道事業会計補正予算(第2号)を定めることについて	//	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
陳情	陳情第6号 公共施設である庁舎内において政党機関紙の勧誘・配達・集金を自粛するよう求める陳情	不採択	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	陳情第7号 インボイス制度に関する相談窓口等の支援を求める陳情	不採択	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	●	○	●	●	●	●
提議員	意見第2号 パレスチナ情勢に関する意見書の提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	意見第3号 インボイス制度に関する相談窓口等の支援対策を求める意見書の提出について	否決	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	●	●	●	●

議長職は表決権なし

意見書を提出しました

パレスチナ情勢に関する意見書(要旨)

10月7日以降、ハマスなど武装勢力とイスラエルとの戦闘が続いており、罪のない一般市民が被害を受け、多くの子どもも犠牲となる深刻な人道危機が発生している。いかなる理由があろうともすべての紛争当事者は国際人道法を厳守すべきであり、江津市議会は日本政府に対し、以下3点の対応を求める。

1. ハマス等武装勢力に対し、文民への攻撃や誘拐を非難し、人質の解放を求め、イスラエルに対しては、安保理決議等を履行し、即刻十分な日数の停戦と十分な人道回廊の確保を求めること。
2. すべての紛争当事者に対し、国際人道法を始めとする国際法の順守を求め、国際法違反の行動は直ちに停止するよう求めること。
3. イスラエルや中東諸国との日本独自の関係を活かして、停戦及び人道支援の実施に向けて、国際社会やG7での議論や動きをリードすること。

一般質問

市議の

Q

市の

A

&

一般質問とは？

皆さんの生活にかかわる大切な内容について、市議会議員が市に対して質問を行います。原稿は質問した議員自身が、主な質問について要旨をまとめたものです。

江津市議会
公式YouTube
チャンネル



※一般質問は江津市議会公式YouTubeチャンネルに動画を掲載しています。各議員の顔写真の右下の二次元コードからも動画の閲覧ができます。
また、一般質問の全ての議事録は市のホームページの「市議会」→「会議録検索」からも見ることができます。（ただし掲載は次期定例会の前になります）

江津市をもっと

暮らしやすくするには、

こうしたらいいな

A.

A棟B棟は、一体と考えている。ただ、将来世代の負担となること、市財政を壊してでもすることではないと考える。方向性を検討しており、現時点では未定だが、提案は参考にしたい。その上で総合的に判断したい。

Q.

旧庁舎が空き家になって一年半、様々な声はあると思うが、いつまでもこの状況ではまずい。「PC3階建てのA棟は、民間へ格安で譲渡するとともに、外壁カーテンウォールを撤去して、PC梁が見える建設当初の姿に戻す」「B棟は、耐震性確保を含め維持に大きな費用がかかるため、早期に解体する」ことを提案する。クラウドファンディングも活用して、実現できないか。

A

Q

早期に決断を行うよう努める

旧庁舎の放置は、財政的・感情的に得策にならないのでは



建設当初の姿の旧庁舎

A.

自治会からの要請により検討の上、柔軟に対応をしていく。

Q.

ごみ収集は、各家庭の衛生管理へ大いに寄与している行政サービスだが、高齢化による免許証返納や身体的な問題から、地域内とはいえ離れた集積場所へ持つていくことが困難になっている。集積場所の設置数の見直しを。

【家庭ごみ収集】



石橋 孝義



Q

菟沢公園や波子駅でのリブランディング事業が目指すゴールは

A

知名度の向上、交流・関係人口の拡大につなげたい

Q

テレビ東京の番組「Tama RiBa」に本市が取り上げられた経緯は。

A

企業版ふるさと納税やシティプロモーションの取り組みを国や民間企業へ相談するなかで、テレビ東京の担当者とながり、番組となった。

Q

菟沢公園でのリブランディングの今後の動きは。

A

10月に東京・虎ノ門ヒルズで関係者や本市の実践者・市職員など40人以上でフューチャーセッションを行った。各関係者を菟沢公園に集め、新しいコンセプトに基づくイベントを実施予定で、この模様を含む収録と放送が予定される。

フューチャーセッションとは

複雑な問題の解決を目ざして、多様な立場の関係者によって行われる対話の場



森脇 悦朗



Q

波子駅でのリブランディングの今後の動きは。

A

利用休止していた駅舎へ石見麦酒が入居予定。これにより、日本で唯一のビール醸造を行う駅として話題となる。波子駅の魅力を活かし、対外的な情報発信や地域の活性化につながる取り組みの企画立案を進める。



昨年10月に開催されたイベント

Q

オーガニックビレッジ宣言の目的は

A

地域ぐるみの有機農業への取り組み強化と情報発信

Q

市内各地域で開催された人・農地ビジョン会議で協議された地域計画の今後の予定は。

A

令和5年度内に会議での意見を踏まえた地域計画案を作成し、関係機関の意見聴取を実施して、公告・縦覧を行う。縦覧後に計画として決定されるのは令和6年4月の予定。

Q

地域計画に含まれない耕作放棄地の対策および相談先は。

A

地域計画に基づき、耕作放棄地を発生させない対策が重要だが、農業以外の利用も含め、地域や他部署と連携して対策を講じる。管理困難な場合は、農林水産課へ支援の相談をしてほしい。

A.Q

農業全体の今後の展望は。

農業は地域経済を支える産



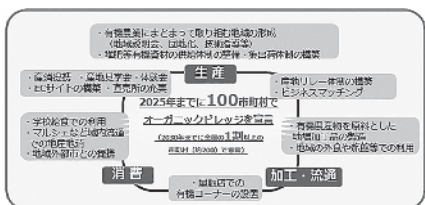
渡辺 信明



農林水産省 HPはこちら



オーガニックビレッジとは
有機農業の生産から消費まで一貫し、地域ぐるみの取り組みを進める市町村のこと。



オーガニックビレッジ (農林水産省HP)

Q

旧江津市民会館の解体は

A

解体後の計画が必要

Q

旧江津市民会館は老朽化が著しい。中心市街地開発として、国の交付金が活用できるメニューを使い、解体を含め跡地計画を積み上げていく段階なのでは。

A

今後、東高浜地区の自治会などで構成する東高浜地区住環境整備事業推進協議会とともに、公共事業による整備手法だけでなく、官民連携の手法で民間の資本とノウハウを活用するなど、あらゆる手法や視点を持って検討する必要がある。

【高校生寮】

Q

本市には、公立と私立高校で1学年360人以上の生徒を受け入れることができる。高校学生寮の整備は、学校の魅



山根 兼三郎

A

力化と広域での生徒募集に十分に効果が期待できる。近年の県内他市町村では高校生を集める取り組みを進めている。本市は目の前に迫る公立高校再編を迎える上で、検討すべき。学校内だけでなく、地域でも魅力ある高校生活を満喫できるように、環境整備をするべきでは。寮建設の具体的な検討はしていない。



旧江津市民会館

Q

地域コミュニティのあり方指針の改定は

A

地域コミュニティ活動の状況を踏まえ適切に対応していきたい

Q

各地域コミュニティの連携が進む各地域コミュニティ交流センター職員間の情報共有の場、現役世代など多くの人が地域コミュニティに関わるきっかけづくり、地域に関わりたい人・なにかやりたい人への地域コミュニティの支援、コミュニティスクールとの連携など、地域コミュニティのあり方指針を改定すべきでは。

A

提案を地域コミュニティの運営・活動の参考としたい。地域コミュニティには、各種団体の補完や地域の支えあい維持の取り組みが求められている。これを踏まえ指針の改定へ適切に対応したい。

【ビジネスプランコンテスト】

A

コンテストの目的は、本市にもとからある価値を地



森元 健二

域に想いをもった小商いに変換できる人を発掘・呼び込み、未来に向けて確信するチカラとそれを応援する風土を根付かせて創造力文化をつくること。

A

考え方を他分野へ広げるか。各学校の教育課程で、ビジネスプランコンテストによる教育効果を活かせる教育プログラムを研究したい。



ビジネスプランコンテスト

Q

市長はどんな施策で本市を「キラリと光るまち」にするのか

A

様々な取り組みが必要



多田 伸治



Q

令和4年度決算で財政状況を示す指数は、危険な水準になった。本行政としての認識は。

A

指数は国の示す基準値内で危険はないが、令和3年度の将来負担比率の全国平均は15・4%で、本市の79・3%は全自治体中ワースト165位。令和4年度は68%に改善したが、余裕のない状態。

Q

令和4年度は黒字決算で、令和5年度へ繰越す必要がある金額の残りが8億4263万円だが、「財政は厳しい」のか。

A

8億4263万円も令和5年度へ繰越し、財源として利用している。この利用がなければ基金が減る。平成27年度からの事業見直しで、平成30年度に財政危機から脱したのが本市の状況。

江津市の財政状況

	実質収支額	基金残高	地方債残高
令和2年度	5億4850万円	54億 592万円	211億 917万円
令和3年度	6億2639万円	54億3569万円	194億8253万円
令和4年度	8億4263万円	62億3578万円	185億9159万円

実質収支額＝決算後に残った金額
基金残高＝江津市の貯金の残高
地方債残高＝江津市の借金の残高

A

様々な取り組みが必要。

Q

黒字決算の残りは過去3年増え続け、令和4年度は予算計上して使わなかった金額が8億9080万円。借金は順調に減り、基金は増えている。それを考えれば、市民へいろいろ再配分できるはずだが、市長はどんな施策で本市を「小さくても一層キラリと光るまち」にするのか。

Q

校則を設ける意義と目的は

A

教育目的を実現し、集団生活するには一定のルールが必要

Q

校則の見直しをする判断や手順、子どもの意見反映は。

A

小学校は年1回程度職員会議で議論し、PTAに諮る学校もある。中学校は生徒会の要望や教職員の指摘から随時見直し、保護者へ周知する。

Q

【インクルーシブ教育】障がい者の権利に関する条約は、合理的配慮の下で同じ環境で学ぶ「包摂」を理想とするが、日本の特別支援教育は、特別学校・学級での「分離」。本市のインクルーシブ教育の現状と課題は。

A

就学前幼児の就学相談で保護者同意のもと、審査・判定を行い特別支援学級へ入級する場合もあるが、教育課程で障がいのない子どもとの交流の場も設けている。多様性

Q

の受け入れや授業への影響、教師の負担などが課題。



植田 好雄



Q

【学校給食】学校給食無償化の考えは。無償化は考えていない。

A

宅配弁当を活用し、長期休みの放課後児童クラブへの給食を。アレルギー対応や出欠確認と連絡、給食費徴収、配送などに課題があり、給食センターも含め提供は考えていない。

Q

A



学校給食センター

Q

小学校再編の考え方は

A

第2次学校整備再編基本計画に基づき進めている

Q. 津宮小学校敷地へ西部統合小学校建設を決定した理由は。

A. 校舎などの建築可能面積が青陵中学校付近の約2倍で、通学路の交通安全、経費の問題や代替施設の確保など総合的に判断した。

Q. 本市として、学校とは児童・生徒にとってどのようなものか。

A. 子どもたちには、夢に向かって自ら進んで学ぶ力や、困難に出くわした際に、自ら課題を見つけ、考え、主体的に判断・行動し、問題を解決する力を身につけるとともに、相手の立場を考える思いやりを持った人物に成長してほしい。学校は教科の学習だけでなく、これらの力を育む場。

【通学路の安全】

Q. 1年間での通学路の危険箇所対策数は。

A. 対策済みは小学校区で28カ所、中学校区で5カ所。対策中の危険箇所は令和5年度着手予定や設計中も含め11カ所。

Q. 対策の具体例は。

A. 外側線引き直し・溝蓋設置・注意喚起の表示・歩道のカラー舗装など。学校へ安全教育も依頼。



坂手 洋介



新たに設置された注意喚起表示

Q

医師確保について、島根県地域医療構想調整会議で議論を

A

医師確保の課題認識は共有している

Q. この10年で済生会江津総合病院は医師が10人減で、浜田医療センターは15人増。県の医療圏域の取り組みと、本市の取り組みで課題認識にギャップがあるのでは。

A. 浜田圏域の医師偏在を県も認識している。その上で本市に必要な医師確保について個別の協議の場を設けて検討している。

Q. 医師確保が会議の議事録に積み上がるよう議論をすべきでは。

A. 会議の議題は主に病床数の調整と医療・介護連携。医師確保は議事録に残る状況にない。

【原子力災害】

Q. 島根原発の災害で避難が必要



植田 圭介



A. な場合、本市は何人の避難者を受け入れる責任があるのか。

A. 松江市から避難者約9000人を受け入れる役割をもつ。

Q. 市内避難所で一番大きい市民体育館は約2000人を収容する計画だが、1人当たり2㎡しかない。6カ月もの避難生活は困難と考えるが、課題認識は。

A. 急のため、不完全でも受け入れることが必要。また、コロナ禍前の収容数であり、課題があると認識している。



江津市民体育館

Q 老朽化が進む小学校施設の教育環境の改善策や計画は

A 学校からの要望や不具合箇所は優先順位をつけて対応する



坂田 優美



Q 西部統合小学校完成まで、川波小学校と津宮小学校の不具合箇所や環境整備はどうなるか。

A 子どもの安全のため、緊急性の高い事業は対応する。津宮小学校の多目的トイレは要望を受け工事発注済み。

Q 生徒数の減少など、市内小中学校の今後の見通しは。

A 少子化が進む現状に強い危機感を抱いている。小規模校化が進み学習・学校行事・部活動など、様々な課題がある。第2次学校再編基本計画で小学校を4校へ集約して適正規模の学校を維持し、活力ある教育環境を確保する。

【過去の質問の確認】

Q 菰沢公園の遊具改修と多目的

A トイレ・屋根のあるベンチ整備の要望への対応は。

A 遊具改修は年明けから工事に着手。改修すべき施設は、公園施設長寿命化計画と菰沢公園リブランディング事業で調整する。

A 避難所の空調の設備は。

A 異常気象への対策として、災害協定締結企業と連携し、可搬式の空調設備の調達を検討中。



老朽化が進む施設

Q 島根県原子力防災訓練に本市はどのように臨んだのか

A 避難経由所や避難所の運営原子力防災の理解促進が目的



寺前 克宏



Q 11月5日の島根県原子力防災訓練に本市も参加したが、どのような目的で臨んだのか。

A 避難経由所や避難所の運営および原子力防災への理解促進を図ることを目的として参加した。

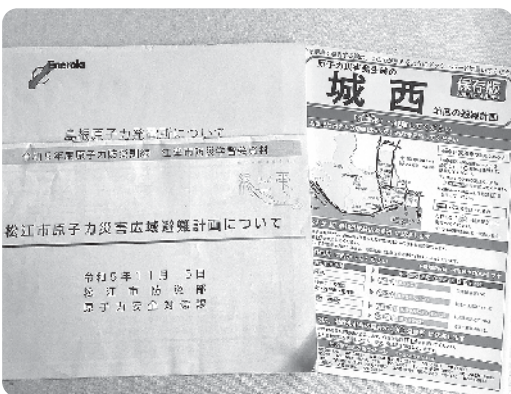
Q 市内中心部へ汚染物質を持ち込まない対策として、東部の入り口であるサンピコこうつ周辺を防災公園として整備し、本市独自の避難経由所を設置してはどうか。

A サンピコこうつ周辺への避難経由所の設置については、山陰道開通後に状況が変化するため、一つの案として、島根県及び松江市と協議したい。

Q 今後、本市としてどのような訓練を行うことが望ましいと

A 考えるか。

A 原子力防災に関わる計画などが、市民に浸透していないと考えられるため、学習会を行った。今後は地域住民を巻き込んだ実践的な訓練を行う必要がある。消防団や自主防災組織などと協議して、マニュアルの改正と訓練を行いたい。



原子力防災訓練のパフレット

Q

老朽危険空家除却支援事業の状況は

A

令和5年度は想定通り10件で相応な取り組み

Q

実施2年目の老朽危険空家除却支援事業の状況と課題は。

A

令和4年度は想定内の6件を超える補助金申請があったが、令和5年度は想定通り10件で、相応と認識。空き家の実態調査から4年経過し、新たな調査が必要なのが課題。

Q

12月13日施行の改正空家特措法は「利活用や予算の増額で撤去を促す」としている。予算を含めた本市の施策は、改正法と距離があるのでは。

A

市民から苦情が多数あり、所有者へ対策要請の書面を送っている。管理や解体は所有者の責任のため、所有者負担軽減と危険空き家解消へ、国の補助金を活用した除却支援事業を行っている。予算は国・県の事業費配分から設定している。

Q

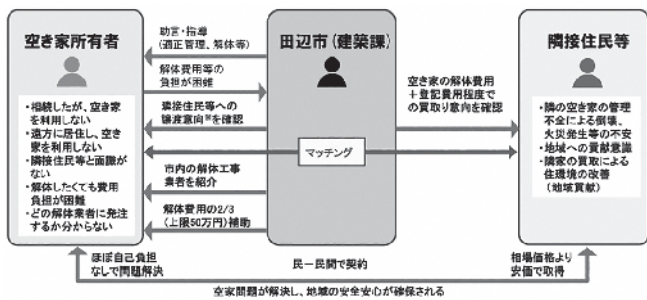
和歌山県田辺市の先進的な取り組みを取り入れられないか。

A

田辺市は専属職員が事業を推進しているが、本市では空き家以外の業務も兼任しており、すべて応用は困難。対応可能なものを取り入れる。



森川 佳英



田辺市での空き家対策の一例

Q

生活支援相談センター設立後の業務実績は

A

設立7カ月で多くの相談があり、10代から80代と幅広い

Q

市内のひきこもりの人数は。

A

現在は把握していない。令和5年度では、状況把握の仕組みづくりに取り組み必要がある。

Q

生活支援相談センターの課題の認識は。

A

これまで構築してきた支援事業を効果的に実施するため、支援内容を市民へ周知し、利用につなげる必要がある。

Q

今後の支援策は。

A

複雑化した相談者の課題に対応し、相談者の属性を問わず相談を受け、課題への重層的支援体制整備事業を実施する予定。また高齢者支援の地域包括支援センターなどと課題解決へ連携したい。



下谷 忠広



【江津中央公園施設】

第二体育館の洋式トイレの改修計画は。

利用者ニーズに対応する施設改善に努める。

第二体育館の多目的トイレ見直しの計画は。

入口のアコデーオンカーテンなど、改善に努めていく。



生活支援相談センター

議会報告会

これまで江津市議会では、毎年、市内数カ所で議会報告会を実施してきました。昨年の5月には市内全地域コミュニティ交流センターにおいて「市民と語る会」を開催し、この11月には市内の各団体や中学校でも開催しました。

各団体においては、5月実施の「市民と語る会」と同様、議会報告の後に、市民の皆様と様々な課題などの意見交換をさせていただきました。

中学校では青陵中学校において、学校の授業の一環として「江津市の好きなところ」や「市の政治に希望すること」などの意見交換をしました。

12月定例会では、それをもとにした一般質問も行われました。

多くの皆様にご参加いただき、また、様々なご意見をいただき、ありがとうございました。

今後も実施方法を検討しながら、開催してまいります。



桜江会場



青陵中学校



次回定例会

請願・陳情締切／2月16日正午まで

日	月	火	水	木	金	土
2/18	19 委員会 (議会運営) 9:30~	20 全員協議会 9:30~	21	22	23	24
25	26 委員会 (議会運営) 15:00~	27	28 本会議 10:00~	29	3/1 議員連絡会 9:30~	2
3	4	5 本会議 (一般質問) 10:00~	6 本会議 (一般質問) 10:00~	7 委員会 (総務民生) 9:30~	8 委員会 (建設経済) 14:00~	9
10	11 委員会 (予算決算) 9:30~	12 委員会 (予算決算) 9:30~	13 委員会 (予算決算) 9:30~	14 情報交換会 9:30~	15	16
17	18 本会議 14:00~	19	20	21	22	23

※開始時間は予定です。

議会を傍聴しよう
江津市議会では皆さんの傍聴をお待ちしております。傍聴をご希望の方は、議会開催日に本庁舎2階の議会事務局までお越しください。

議会へ参加しよう
市政に対して意見や要望があれば、議会へ請願・陳情することができます。請願の場合は市議会議員の紹介が必要です。お気軽にご相談ください。

編集・発行責任者

議長 藤間 義明

市議会だより編集特別委員会

委員長 坂手 洋介

副委員長 下谷 忠広

委員 森元 健二

委員 植田 圭介

委員 渡辺 信明

委員 鍛冶 恵巳子

委員 多田 伸治

市議会だよりは
こちらから



「小さくとも」一層「キラリと光るまち
ごっこ」を目指して。
(森元 健二)

令和6年が始まり、本年最初の議会だよりです。
新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが、2類相当から5類に移行され、対策を取りながらではあります。コロナ禍以前の生活様式を徐々に取り戻しているように感じています。特にイベントや行事など多くの人が対面で集うことができるようになってきていると思います。
江津に興味をもったり、魅力を感じたりした多くの学生や若い人たちが本市を訪れ、各地域の行事やイベントに参加しています。さらに地域の方たちと一緒に企画運営に携わり活動している姿をよく見かけるようになりました。

編集後記